主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人成田善三郎の上告趣意(後記)は、量刑不当の主張であるから、刑訴応急 措置法一三条二項により上告適法の理由にならない。

よつて刑訴施行法二条旧刑訴四四六条により主文のとおり判決する。

この判決は、裁判官全員一致の意見である。

検察官 渡部善信関与

昭和二六年四月一七日

最高裁判所第三小法廷

| 裁判長裁判官 | 長 名 | i III | 太一 | - 郎 |
|--------|-----|-------|----|-----|
| 裁判官 | 井 | 上 | | 登 |
| 裁判官 | 島 | | | 保 |
| 裁判官 | 河 | 村 | 又 | 介 |